

## 「第2次箱根町HOT21観光プラン実施計画（案）」に対する意見募集（パブリック・コメント）実施結果

◆意見の募集期間 令和2年2月14日（金）～ 令和2年3月6日（金）

◆提出意見数 1件（提出者数1名）

No	項目	意見の概要（原則、原文のまま記載）	意見に対する町の考え方
1	<p>Ⅲ各戦略に係る具体施策</p> <p>「D：受け入れ視点国内外から高く評価される高品質なソフトインフラの整備」</p> <p>◆誰もが不便なく、快適に観光できる環境の整備</p> <p>P-32 【施策1（D）-2-1】渋滞に関する分析と対策</p>	<p>①恒常的な渋滞箇所・時間の調査・分析についての意見</p> <p>渋滞箇所は、湯本駅前前のセブンイレブン前横断歩道、同ちもと前横断歩道の2ヶ所と、国道1号線の工事による片側通行時の渋滞にほぼ限定されることは明らかです。首都圏からの観光客にとってこの渋滞問題は、観光地選択の大きな阻害要因にもなっているので、課題としては大きいと日頃から感じています。しかしながら、対策がいつこうに取られないことには立ちを感じているところに、今回の報告者では「これから調査・分析」となっており、同報告ののんびりさ加減が信じられません。実行できることはたくさんあると思うので、できることからどんどん実行する方式で取り組んでいただきたいと思えます。</p> <p>湯本駅前前の2つの横断歩道の渋滞は、特に土日・祝日に著しく、下りは風祭近辺から、上りは大平台から渋滞状態になっています。原因は、同横断歩道を人が切れ目なくただら横断し、都度車が一時停止をする状況にあるからです。横断歩道に人が待っていたら、車は一時停止し、人の通行を優先することになっているからです。この部分を改善しなければ、同ポイントでの渋滞は解消できません。</p> <p>一部改善できる方法として、横断歩道に「歩行者用信号」を設置し、確実に車が通行できる時間を確保することを提案します。現在では、土日の10分間で、2つの横断歩道を車が横切れる時間は概ね3分程度だと思います。つまり7分程度は、歩行者が通行している状態になっています。歩行者用信号を設置することで、車の通行時間を7分確保できれば、渋滞距離は大幅に縮小できると考えています。国道1号線ですから、国も管轄になると思いますが、費用は数十万円で対策可能と思えます。</p> <p>もう1つは、道路工事及び箱根登山鉄道の工事に伴う片側通行による渋滞対策です。道路工事であれば、費用が増大しても夜間や早朝工事を徹底することを依頼します。また、宮城野～久野につながる林道の解放等も渋滞解消に有効です。</p> <p>机上で検討を繰り返し、調査や分析をしても、時間と費用の無駄と思えますので、具体的な施策をどんどん実施して効果を測定する方式を取っていただくことを希望します。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>観光地箱根にとりまして、渋滞については長年にわたっての大きな課題と十分認識しております。</p> <p>以前には、町でも湯本駅付近に交通整理員を配置するなどの渋滞緩和対策を講じた時代もありましたが、十分な効果までは認められませんでした。以降も交通事業者による箱根湯本駅の再整備に合わせて、神奈川県がバリアフリー設備を伴うペDESTリアンデッキを整備するなど、様々な角度・視点から渋滞緩和に向け取り組んできた経過はあるものの、残念ながら効果的な対策の実施までには至っていないことは事実であります。</p> <p>平成29年3月の観光基本計画策定以降、翌30年4月には箱根DMOが設立され、様々なリサーチ、アンケート調査やマーケティング分析が行われるようになりその結果、箱根観光における不満な点として渋滞が一番大きな割合を占めていることがあらためて浮き彫りとなりました。</p> <p>令和元年度においてはこの箱根DMOが、今般の実施計画策定に先行する形で著しく進化を遂げているICT技術などによるビッグデータを活用しながら、現状の交通分析に取り組んでいるところです。これまで何となくの肌感覚のみで考えていた渋滞について、これらの調査や分析に基づき渋滞の定量性を把握することができるようになることで、どの時期に、どの区間で渋滞が発生しやすいのかなどの情報が可視化されるようになりますので、湯本付近のほか、町内全域における渋滞状況などが明らかになってきます。</p> <p>このことを踏まえたうえで、実施計画の計画期間（2019～2023年度の5年間）の間に、先述のような科学的データに基づく渋滞緩和につながる具体施策の検討を観光事業者、関係機関・団体等とともに進めてまいります。できることをしっかり実施していくことで渋滞の緩和、ひいては箱根における回遊性の向上につなげ、観光客の満足度、観光消費額の増加を目指していきたいと考えています。</p> <p>なお、具体的にご提案のありました信号機の設置なども具体施策の検討において選択肢の一つであると考えておりますので、参考にさせていただきます。</p>
その他（補足説明等）			
	<p>全般的な修正（誤字脱字を含む）・精査等について</p>	<p>○意見募集（パブリック・コメント）と並行して、主に次のような対応をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・字句修正（誤字脱字を含む）</li> <li>・用語注釈の付記〔例：ICT（Information and Communication Technology）は情報・通信に関する技術の総称〕</li> <li>・自然災害に関連する部分の記述は地震、噴火、台風のほか、その他の危機についても記載</li> </ul> <p>※ 最終的に公表する内容は、これらのことを反映したものとなります。</p>	